

授業科目	＊健康情報処理論					実務家教員担当科目	-				
単位	2	履修	必修	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	藤和 太										
授業概要	この授業では、根拠に基づく栄養学（EBN）を実践するために必要な基本的能力を身に着けることを目指します。具体的には、栄養健康分野における情報の種類、情報の読み方、情報の収集方法、データの入力、データのクリーニング、データの統計処理方法および応用編として疫学研究でよく行われる健康指標の計算について学びます。										
授業形態	対面授業				授業方法	教科書、配布資料とスライドによる説明、ICT 活用する場合もある。					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1. 適切な健康情報を検索・収集できる。（DP1-1） 2. 収集した健康情報に関する科学的根拠の有無について判断できる。（DP 2-1） 3. 収集した健康情報を適正に処理し、問題解決等に活用できる。（DP1-1、DP2-1） 4. 健康情報を解釈する上で必要な基本的な統計処理ができる。（DP1-1、DP2-1） 上記の行動目標全てを達成している。										
理想的レベル	標準レベル全てを達成し、かつこれらを応用することができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）			備考					
試験			70								
小テスト			30								
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NT21104J
学習課題（予習・復習）										1 回の目安時間（時間）	
次の授業内容について教科書を予習し、授業後は演習問題などを解いて、勉強内容を確認する。										4	
授業計画											
第 1 回	テーマ：健康栄養情報とは？ 栄養学と統計学										
第 2 回	テーマ：データの種類 質的データと量的データ、連続データと離散データ										
第 3 回	テーマ：度数分布と代表値 平均値、中央値、最頻値、四分位数、最大値、最小値、範囲										

第 4 回	テーマ：データの散布度 分布、標準偏差、標準誤差
第 5 回	テーマ：正規分布 データの正規性検定、対数変換、外れ値
第 6 回	テーマ：標本の抽出と性質 抽出方法、母集団平均値推定、信頼区間の計算
第 7 回	テーマ：統計検定の考え方 有意水準、帰無仮説、p 値
第 8 回	テーマ：2 群の平均値の比較 t 検定、F 検定
第 9 回	テーマ：3 つ以上の平均値の比較 分散分析、ボンフェローニ法
第 10 回	テーマ：2 つの変数の相関 ピアソンの相関、スピアマンの相関
第 11 回	テーマ：2 つ変数の回帰分析 回帰直線、回帰係数
第 12 回	テーマ：多変量解析 重回帰、ダミー変数、偏相関係数
第 13 回	テーマ：研究デザインとクロス集計表 観察研究、介入研究、コホート研究、症例対照研究、横断研究、生態学的研究
第 14 回	テーマ：クロス集計表計算 カイ 2 乗検定、相対リスク、オッズ比計算
第 15 回	テーマ：クロス集計表応用 生存曲線、ハザード比
テキスト	基礎統計学 鈴木良雄、廣津信義 著、第 2 版 講談社
参考図 書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	● 統計情報処理入門（建帛社） ● 疫学・健康統計学（建帛社） ● わかりやすい EBN と栄養疫学（同文書院） ● やさしい栄養・生活統計学（南江堂）

課題に対するフィードバックの方法	小テストにより授業の理解度を確認する。 小テストは次の授業で質疑応答してから解説する。
学生へのメッセージ・コメント	1. 高校で学ぶ統計学の知識および1年次の情報科目の知識を前提にしています。 2. 本授業では、学生主体で教科書を読み解き、課題解決する訓練をすることがある。 3. 最新の栄養健康情報を常に検索し、栄養疫学への関心を深める。